

2003年夏 Hot-line ISSUI



参議院議員 三浦一水レポート

発行人 / 自由民主党熊本県参議院選挙区第三支部
支部長 参議院議員 三浦一水

発行日 / 平成 15年 8月 1日
熊本事務所 / 〒862 0951 熊本県熊本市上水前寺 2-40-6
TEL (096) 382 3737 FAX (096) 382 4300

東北事務所 / 〒862 0951 熊本県山鹿市津留 2222
TEL (0968) 43 0031 FAX (0968) 43 0038

議員会館 / 〒100 0014 東京都千代田区永田町 2-4-4
TEL (03) 3508 8721 FAX (03) 5512 2721

ホームページアドレス <http://www.miuraisui.com>

Eメールアドレス issui_miura@sangi.in.go.jp



『月刊官界』(八月号)掲載写真(左)とインタビュー記事(下)

天津南開大学の中国文学科で学びソニーへ入社。ASEAN 及び香港、中国のマーケティングを担当し、後県議、そして参院議員になった変わりダネ。政治家らしからぬ物静かなスタイルが印象的。今国会では農水委員長として食の安全、食料基本法、食品安全委員会設置など、数多くの難題に取り組んできた。

自らのライフワークを国家の基本の再構築と言い切る。「戦後六十年経って、今こそ国の基本を議論し、整理するチャンス。有事法制も成立し、今後は教育基本法を作り上げなければならない。憲法問題も含め、整理の時代に自分も参画していきたい」と豊富を語る。そして、「この課題を果敢に押し進められる、立派なリーダーを育てていきたい。そのためには自分は黒子に徹してもいい」と言い切る。熱い思いを抑制の利いた口調で述べていく。

ちょっと珍しい名前の「一水」は今亡き父親がつけてくれたもの。「仏典から引用したそうです。両親二人ともプロテスタントなんですけれども」と人懐っこい笑顔で答えてくれた。

ご挨拶

はじめに、7月20日水俣市を襲った集中豪雨による土石流と崖崩れで犠牲になられた19名の方々のご冥福をお祈りいたしますと共に、ご遺族様に対し衷心よりお悔やみを申し上げます。また、同時に被災された多くの方々からのお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧と再発防止に向けて、水俣市・熊本県と一体となり全力を投じております。心身共さぞかしお疲れのことと存じます。が、くれぐれもご自愛のほど祈り上げます。

さて、7月28日第156通常国会が閉会いたしました。今国会には政府より、経済・防衛・外交を始め広範囲にわたる重要法案が上程されましたが、与野党二党の努力によってそのほとんどが成立を見ました。とりわけ、平成15年度予算の年度内成立に加え、武力攻撃事態対処関連三法、個人情報保護法、司法制度改革関連法、産業再生法、雇用基本法、イラク復興支援特別措置法が成立したことは特筆すべき成果でございます。

また、私が委員長を務めました農林水産委員会関連では、国民生活の基本であり私の長年の主張である「食の安全」を確保するための諸法律案について、活発な審議を経て成立に至ったことで、委員長としての職責を無事果たしましたことを報告いたします。

国会閉会と同時に、いよいよ「自由民主党総裁選挙と衆議院解散総選挙」に関心が高まってまいりました。

総裁選挙につきましては、マスコミはややもすると、「小泉総理対抵抗勢力の権力闘争」という面を誇張して報じますが、党内の様々な政策グループや議員がそれぞれ最善と信ずる政策を党員・国民の前でオープンに主張し合うのは我が自民党の良き伝統であり活力の源でございます。自由民主党総裁を選ぶことは内閣総理大臣を選ぶことでもあります。以上、名乗りを挙げる候補者の政策に十二分に耳を傾け、我が国の閉塞状況を打破するための舵取りを任せるにふさわしい総裁を誕生させましょう。

解散総選挙に関しましては、遠からず訪れる決戦の時に向けて、我が自由民主党に皆様方の圧倒的なご支持を賜り、引き続き責任政党として政権を担当し、途上にある改革を完遂し、我が国の新たな発展を生み出す任をお与えいただきたく、絶大なるご支援のほどお願い申し上げます。

猛暑の折から、皆様様のますますのご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

参議院議員 三浦一水

2003年(1月~6月) 【活動の軌跡】

1月9日 熊日記事 財政問題・食の安全・WTO農業交渉などについてインタビューに答える。



自民党の三浦一水参院議員(熊本選挙区)が8日、熊本市の熊本日日新聞社を訪れ「小泉改革の真価が問われている」と語った。特に、歳入不足などの財政問題にふれながら「公共事業の削減をはじめ保険・医療分野での国民の痛みが増している。消費税などの税負担のあり方を含めて、論議を深めなければならぬ」と語った。

三浦一水さん
参院
熊本選挙区

議員サロ 小泉改革の真価問われる

「農産物の偽装表示や無登録農薬問題など出すべきウミが出た」と感じた。JAS法をはじめ関連法は改正されたが、また第一弾。生産履歴をさかのぼって調べるトレーサビリティ・システムやDNA鑑定を確立させることによって、食への信頼回復に努めたい。

大詰めを迎えたWTO農業交渉。日本は国土保全など農業の持つ多面的機能を強調しながら、漸進的な保護削減を主張している。「米国などが訴えている関税や各種補助金の一律削減が認められれば、日本農業の打撃は大きい。阻止したい」



1月20日 県酪連の代表団が上京され、議員会館を訪問。直面する諸問題に対する意見交換を行う。 <農水委員長室>



2月6日 JA青壮部の皆様を上京され忌憚のない意見交換を行う。翌日のJA青年の主張全国大会では、県代表の井村正裕氏が大賞(千石興太郎賞)を見事受賞される。 <議員会館会議室>



2月12日 国会審議で多忙を極める片山総務大臣と会談し、地方自治体の実情について訴える。写真は直後のスナップ。 <参議院内>



2月9日 熱心にご支援いただいている「八代一水会」の方々との懇談。県内各地でこのような懇談会を順次計画していく予定。 <八代市内>



2月25日 県内の町村長が一堂に会する、年に一度の貴重な意見交換会。多岐に渡る分野で、活発な意見交換が行われる。 <全国町村会館>



5月3日 忙中閑あり。恒例となった横島町青年部と事務所合同での潮干狩り。天候にも恵まれアサリ貝の大収穫。

<国政報告会>
今年もこれまで県内各所より多くの機会を頂戴し、国政報告をさせていただきました。皆様方から拝聴した、現場の切実なご意見・ご要望を真摯に受け止め、国政に反映してまいります。農政問題に限らず、お呼びいただきましたら可能な限りどこへでも参りますので、今後も是非ご要望ください。



6月28日 JA青年部山本支部



3月1日 農政連球磨支部・青壮年部



2月8日 阿蘇土地改良区



2月15日 WTO国際市民集會に県代表団と一緒に参加。 <日比谷野外音楽堂>



2月15日 集會終了後、銀座を通り東京駅までデモ行進。 <銀座熊本館前>

<WTO農業交渉>

熊本県農業者の代表として、また自民党農林水産物貿易調査会事務局次長として、WTO 農業交渉における日本提案の実現を目指し奔走した半年間でした。交渉は今秋大詰めを迎え、これからが本当の正念場です。



2月21日 県議会で決議されたWTO農業交渉に関する意見書を自民党の麻生太郎政調会長へ提出。 <党政調会長室>



2月16日 WTOミ二閣僚会議が東京で開催され、各国代表と非公式会合を重ね、日本提案への賛同を求める。 <帝国ホテル>



2月13日 農林水産関係団体代表の方々とお泉総理へ要請。 <首相官邸>



5月24日 三浦一水を囲む鹿本郡市女性の会として発足した「水の輪会」の総会に出席。女性の視点からの貴重なご意見も拝聴できた有意義な懇談会での記念写真。 <山鹿市内>



5月27日 上京されていた熊本市保育連盟の皆様との懇談会。幼保一元化、保育所運営費の一般財源化など、参加者皆様と一緒に解決すべき問題が山積する中でも、この時ばかりは楽しいひとときを共有させていただく。 <ホテルニューオータニ>



6月3日 今夏に迫った米政策改革の具体策作成を前に、全国農業協同組合中央会より、団体としての見解・要望について長時間にわたり細部まで聴取。 <議員会館>



6月19日 果樹対策の全国代表者集會に出席。果樹（みかん）の補填基準価格見直を目前に控え、産地からの切実な要望に耳を傾ける。 <マルヤサロン>



6月10日 全国養鰻漁業協同組合連合会の記念すべき第1回総会にお招きいただく。安価な輸入養殖鰻が流通する中、国産養殖鰻の差別化に努力を重ねておられる皆様に敬意を表する。 <虎ノ門パストラル>

< 参議院農林水産委員会 >

昨年8月に参議院農林水産委員長を拝命して以降、これまでに有海・八代海再生特別措置法、トレーサビリティ法、食品安全基本法など、多くの重要法案の審議に加え3回に及び国内視察と、国会開会中は農林水産委員会中心の毎日でした。



5月15日 委員会の皆様と家畜改良センター、畜産技術協会などを視察。< 栃木県内 >



2月27日 農林水産委員長として、北海道農民連盟の皆様からの要望書を受領。意見交換を行う。< 農水委員長室 >



7月4日 通常国会において取り扱う農林水産関係法案のすべての審議を終了させ、お世話になった参議院関係スタッフとほっと一息。< 議員会館 >



6月12日 食糧法の一部改正案の審議。各方面の専門家を参考人としてお呼びし質疑。< 農水委員会室 >



4月13日、統一地方選の投票日。当確の情報に関係者全員が喜びを爆発させた瞬間、右記はその時の素直な気持ちを綴った所感。

【所感】都道府県議会議員選挙を終えて

四月四日告示、同十三日投票の「掲題」が終了した。我が熊本県でも五十五名の議員がまず選任された。我が国また熊本県として、本当に困難な時期ではあるが、めでたく当選された各議員の活躍を祈念したい。各位の任期四年は、私の残任期四年四月とほぼ同じ時間にもなるわけだから、明るい豊かな熊本作りに大いに連携していきたい。

それにしても今回の選挙で各地の同志議員を応援し、中んずく自分の足元の同志候補を応援する中で感じたことがある。応援する者の気持ちである。あらためて様々の立場を乗り越えて心援・支援がなされていることを痛感した。私自身も自分の後援会に悪影響が出る懸念を周りの多くの方々に頂きながら、それでも立場をはつきりしながら支援を続けた。日々選挙事務所でのやり取りを見つめながら、また自身も参画しながら、応援する者の苦悩というのを見、実感した気がした。

自分が一年八ヶ月前に、更に将来にも選挙に出させてもらう立場であることを思つと、今度は自分を支援頂く皆様の苦悩を考えると、いくらか感謝しても感謝しきれないものであることを感じた。

その方々の勝利をめざす気持ちが一つになつてはじめて結果につながっていくことも実感した。

そしてハンザイの時を迎えた。

自分が選挙に勝たせてもらった時に勝るとも劣らない「嬉しさ」を支援者の一人として感ずることが出来ることを実感した。

十二年も政治を経験させて頂いて、恥ずかしい気持ちを感じながらではあるが、あらためて様々なことを学ばせて頂いた二〇〇三年都道府県議会議員選挙であった。

自民党入党と党员継続のお願い

現在、三浦議員は自民党熊本県参議院選挙区第三支部の支部長を務めており、党员確保を目指しております。

自民党员として2年間以上継続していただきますと、自民党総裁選挙に投票出来ます。次回は9月になります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

党費：年間4,000円

三浦一水 ご支援のお願い

個人後援会と政党支部の賛助会員を募集しています。多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

賛助会員：1万円/年(一口)

* お申込み・お問い合わせは下記までお願い申し上げます。

三浦一水熊本事務所
〒862-0951 熊本県熊本市上水前寺2-40-6
TEL(096)382-3737 FAX(096)382-4300
E-mail: m.kumamoto@muc.biglobe.ne.jp



< 案内図 >